

第3回 津山市総合計画審議会 次第

日 時 平成27年3月23日(月)
10時00分～

場 所 津山市役所 2F 大会議室

1 開 会

2 市民憲章唱和

3 報 告 事 項

(1) 地区別懇談会での意見・提言等について・・・ P.2、別冊1

(2) 分野別懇談会での意見・提言等について・・・ P.2、別冊2

(3) 懇談会でのアンケート調査結果概要(中間報告)について・・・別冊3

(4) グループインタビュー・職員ワークショップの中間報告について

(5) 新市建設計画に係る事業の進捗状況について・・・ P.3

4 協 議 事 項

(1) 基本構想策定のための意見交換

5 そ の 他

(1) 今後のスケジュールについて・・・ P.4

(2) 次回開催日について

平成27年6月4日(木)13時30分～、津山市役所2F大会議室

6 閉 会

津山市総合計画審議会配席表

* 敬称 略

阿波地域審議会
会長 小椋 懋

美作大学
教授 鷗崎 実

岡山県美作果民局
局長 村木 正司

就実大学
経営学部長 杉山 慎策

津山市保育協議会
会長 土居 義幸

津山市消防団
団長 土肥 祥嗣

会長 副会長

傍聴者席

報道関係者席

津山市PTA連合会
会長 豊田 昌稔

岡山県津山警察署
署長 中村 智彦

津山市中学校校長会
会長 野々上 正成

津山農業協働組合
代表理事専務 早瀬 賢治

市民公募委員
廣本 慎太郎

津山市森林組合
参事 福田 直樹

津山市愛育委員連合会
会長 藤本 貴子

津山市老人クラブ
連合会
会長 藤本 毅

津山市医師会
会長 松尾 直光

津山商工会議所
会頭 松田 欣也

津山市文化連盟
会長 八木 芙佐子

勝北地域審議会
副会長 山本 祐之

津山青年会議所
理事長 河原 淳

加茂地域審議会
副会長 菅田 貞男

市民公募委員
菊岡 美和

津山工業高等専門学校
教授 小西 大二郎

津山市連合町内会
会長 坂本 道治

久米地域審議会
会長 杉山 和之

NPO法人つやまNPO
支援センター
理事長 鈴木 康正

津山市民生児童委員会
連合協議会
会長 高山 科子

津山市観光協会
会長 竹内 佑直

津山市体育協会
理事長 武川 信吾

作州津山商工会
会長 田村 正敏

津山市社会福祉協議会
常務理事 土井 京三

津山市小学校校長会
会長 土居 道宏

つながる地域づくり研究所
専務理事 林 和弘

つながる地域づくり研究所
代表理事 一井 暁子

津山市政策調整室長
小賀 智子

津山市特別理事
常藤 勸治

津山市成長戦略政策官
野口 薫

津山市政策調整室
企画主幹 定久 誠

事務局

地区別および分野別懇談会の意見・提言等のまとめ

○懇談会の実施概要

- 【実施期間】 平成 27 年 1 月 17 日(土)～2 月 22 日(日)
- 【実施回数】 地区別懇談会:19 回(10 日間) 分野別懇談会:5 回(5 日間)
- 【実施単位】 地区別懇談会:連合町内会全 44 支部・全 4 地域審議会
分野別懇談会:5 分野
- 【参加者数】 地区別懇談会:692 名 分野別懇談会:82 名

取り組むべき課題や政策のポイント	策定に当たっての手法や考え方の視点
<p>雇用の創出 働く場の確保 定住推進施策の推進 企業誘致</p> <p>津山の魅力づくり 観光施策の強化 交流人口増の取り組み強化 情報発信</p> <p>子育て施策の充実 子どもを産み育てやすい環境づくり 子育て支援の充実 教育施策の強化(人づくり・学力向上)</p> <p>公共交通の充実 既存施設の活用 高齢者施策の充実 広域連携</p>	<p>手遅れにならないよう、スピード感を持った取り組み 思い切った発想の転換 従来とは違う手法や考え方への挑戦 総花でなく、選択と集中 今ある資源の再発見と活用 ハードよりソフト施策の充実</p> <p>「津山と言えばこれ」と広く知られ、誇れる魅力づくり 他の自治体との競争に勝てる独自性 皆の希望となるようなシンボル事業の打ち出し 発信やPRの強化 市民に分かりやすく伝わるような情報発信 外からの視点の導入</p> <p>若い世代の意見の聴取と活用 各地域の特性を生かしたまちづくり 地域コミュニティの強化と担い手の育成 圏域で取り組む視点 県北の拠点都市としての役割</p>

合併特例債・過疎対策事業実施事業・地域別一覧(H17～25年度発行実績)

			(千円)	
	発行年度	事業名	事業費	割合
全体	H17～21	上水道出資債	383,400	10.5%
	H17～19	戸島学校食育センター建設	1,494,927	
	H24～25	戸島学校食育センター改修	167,696	
	H24～25	草加部学校食育センター建設	751,287	
			2,797,310	
旧津山	H17～25	合併支線道路整備事業負担金	911,959	46.5%
	H18	総合斎場整備	21,000	
	H18	障害者社会参加施設整備(リフト付バス)	5,283	
	H18～19	城西公民館整備	174,178	
	H18～21	まほらファーム整備	588,484	
	H18～20、22	津山洋学資料館建設	1,129,747	
	H19	衆楽公園駐車場整備	58,617	
	H19	すこやか・こどもセンター(旧社会保険センター)整備	374,172	
	H19	デジタル系地域防災無線整備	267,182	
	H20～21	城東地区無電柱化事業	192,788	
	H20～25	小中学校施設耐震補強等事業(北小、東小など17校)	5,091,284	
	H21～22	東幼稚園駐車場整備事業	16,043	
	H21～22	市営弓道場整備	87,719	
	H24～25	津山東公民館整備	273,299	
	H24	河辺小児童クラブ施設改修	3,139	
	H24～25	ときわ園整備事業	1,045,781	
	H24～25	市立体育館施設改修	43,046	
	H24～25	津山文化センター施設整備事業	55,550	
	H24～25	武家屋敷(旧田淵邸)整備	58,490	
	H24～25	井口公園整備事業	1,548,141	
	H24～25	津山駅周辺整備事業	133,852	
	H24	鶴山公園駐車場整備	267,302	
	H25	苅田家町家群整備事業	19,672	
	H25	一宮小児童クラブ施設整備	12,942	
H25	スポーツセンター野球場整備事業	45,159		
			12,424,829	
旧加茂	H17～19	農業集落排水整備(新加茂・知和地区)	555,423	13.7%
	H17～19、23～25	市道改良(知和青柳線外)	350,178	
	H17～21、25	特定環境保全公共下水道整備	1,253,041	
	H17～20、23～25	簡易水道整備	838,488	
	H22、25	除雪機械整備	30,245	
	H20～21	地域情報通信施設整備(CATV)	375,218	
	H21～22	加茂町公民館整備	238,697	
	H23～25	消防施設整備	28,083	
旧阿波	H17、20	除雪機械整備	12,285	3.3%
	H17	落合溪流遊休公園整備	79,300	
	H17～18	簡易水道整備	256,457	
	H17～19、23～25	林道改良(郷路東本谷線外)	322,851	
	H18、21	消防施設整備	13,112	
	H19	スクールバス整備	11,843	
	H19	森林バイオマス熱利用推進事業	88,642	
	H20～21	地域情報通信施設整備(CATV)	51,166	
	H23	あば温泉湯設備更新	18,690	
	H25	木の駅プロジェクト	15,225	
			869,571	
旧勝北	H17～25	市道改良(西上山形線)	196,835	7.2%
	H18～20	勝北統合保育所整備	991,833	
	H18～22	市道改良(光実工門線)	413,280	
	H24～25	小中学校施設耐震補強等事業(広戸小)	31,685	
	H25	農産物直売施設整備事業(勝北マルシェ)	106,426	
	H23～24	防災行政無線整備	197,908	
			1,937,967	
旧久米	H20～24	小中学校施設耐震補強等事業(久米中、中正小、秀実小)	726,274	18.8%
	H17～21	農道改良(山根矢谷線外)	141,493	
	H17～21、23～25	市道改良(戸脇中央線外)	556,838	
	H17～25	公共下水道整備	2,779,961	
	H19～21	倭文保育所建設	417,029	
	H22～23	久米公民館整備	412,650	
			5,034,245	
合計			26,733,295	

青字:合併特例債事業 黒字:過疎債事業 緑字:防衛事業

総合計画審議会開催予定

時期	審議会	審議内容	事業内容等
3月23日	第3回	懇談会等意見聴取結果報告	
4月下旬			インターネットアンケート調査
5月			市民ワークショップ
6月上旬	第4回	基本構想案審議	市民満足量調査開始
7月上旬	第5回	基本構想諮問	パブリックコメント
7月下旬	第6回	基本構想案審議	市民満足量調査取りまとめ
8月	第7回	基本構想答申	
9月			議会提案（予定）
10月	第8回	基本計画諮問	パブリックコメント
11月	第9回 第10回	基本計画案審議 基本計画答申	
12月			総合計画（冊子）作成開始
1月			第5次総合計画書完成（予定）
2月			冊子印刷
3月			第5次総合計画公表

非公開のもの以外は、プレスリリース、広報つやま・市HP掲載により随時情報発信します。

地区別懇談会での意見・提言等のまとめ

平成27年3月23日

津山市総合企画部 政策調整室

地区別懇談会での意見・提言等のまとめ

1 実施期間 平成27年1月17日（土）～2月22日（日）

2 実施日数 10日間

3 実施力所 19力所

4 実施日及び参加人数等

（単位：人）

実施した日時			町内会支部名	参加人数	男	女	会 場
平成27年1月17日	土	10：00～12：00	東津山	17	17	0	津山東公民館
			城東	11	8	3	
			林田	15	12	3	
	14：00～16：00	城南	13	12	1	雇用労働センター	
		中央	11	10	1		
		鶴城	5	5	0		
平成27年1月18日	日	10：00～12：00	城北	13	13	0	城西公民館
			城西	19	13	6	
	14：00～16：00	西苦田	60	48	12	西苦田公民館	
平成27年1月24日	土	10：00～12：00	二宮	32	29	3	二宮公民館
		14：00～16：00	院庄	37	29	8	院庄公民館
平成27年1月31日	土	10：00～12：00	佐良山	34	30	4	佐良山公民館
		14：00～16：00	福岡	17	12	5	中央公民館
			福南	19	15	4	
平成27年2月1日	日	10：00～12：00	一宮	15	14	1	高田公民館
			高田	14	12	2	
			高倉	13	12	1	
		14：00～16：00	田邑	28	24	5	田邑公民館
平成27年2月7日	土	10：00～12：00	神庭	12	9	3	清泉公民館
			滝尾	9	8	1	
			成名	10	6	4	
		14：00～16：00	高野	18	17	1	高野公民館
			広野	17	12	4	
平成27年2月8日	日	10：00～12：00	東苦田	41	31	10	東苦田公民館
		14：00～16：00	河辺	31	22	9	河辺公民館
平成27年2月14日	土	10：00～12：00	加茂	36	32	4	加茂支所
			加茂地域審議会	2	1	1	
平成27年2月15日	日	10：00～12：00	勝北	27	18	9	勝北支所
			勝北地域審議会	4	3	1	
		14：00～16：00	久米	35	33	2	久米公民館
			久米地域審議会	3	2	1	
平成27年2月22日	日	14：00～16：00	阿波	32	19	13	阿波公民館
			阿波地域審議会	3	2	1	
		18：00～20：00	大崎	39	30	9	大崎公民館
合計				692	560	132	

5 意見・提言の内容

内 容	数	割合	区分説明
紹介	8	1%	地区の実践例や事業紹介
課題	47	8%	市民の皆さんが感じている課題
意見	62	11%	まちづくり等への意見
提言	203	35%	津山市が目指すべき方向性や取り組むべき施策
要望	252	44%	津山市に対する要望事項
合計	572	100%	

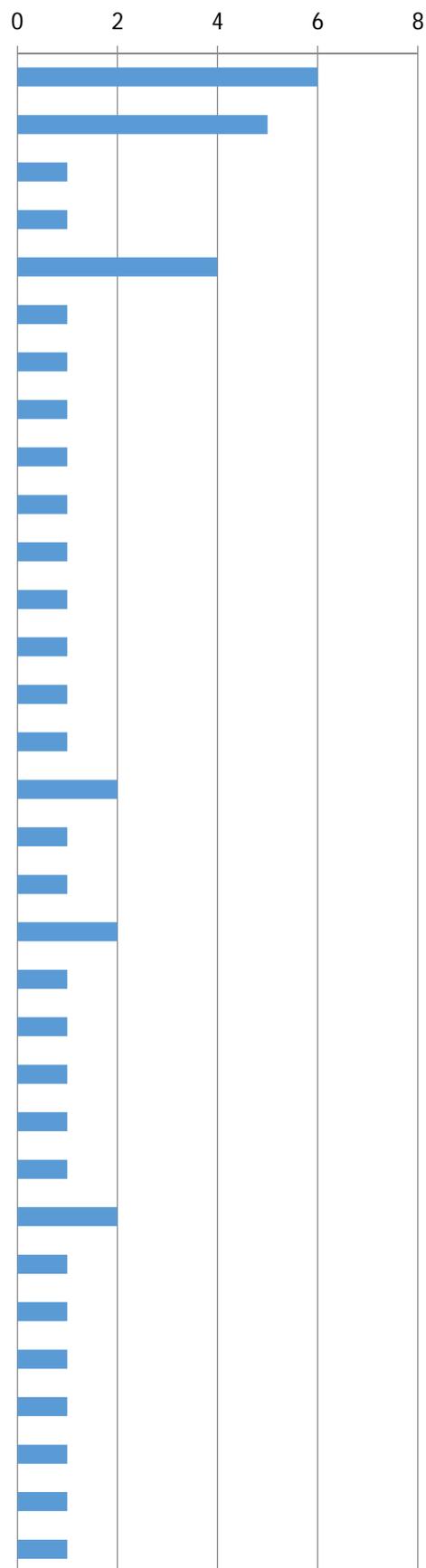
6 意見・提言の内容ごとの内訳

(1) 紹介(地区の実践例や事業紹介)の概要

内容骨子	内 容
津山の魅力(人情がある)	自分はよそからの転入者だが、津山は人情味のあるいいまち
津山の魅力 (困った時は津山にきけ!)	(松下勤務時に、「困った時には津山に持っていけば成功させてくれる」と言われていたように)作州の人はやると決めたらやり抜く根性と気概がある
自主防災組織の実践例	安全・安心のまちづくりのために自主防災組織を結成してがんばっている
子育てについての地域連携の実践例(学童保育)	地域と連携した開かれた学童保育に取り組んだところ、課題(雨漏り)を、地域の人が市につないでくれて、迅速な対応につながった
町内美化の実践例 (作陽高校周辺の清掃)	作陽高校周辺の美化。町内としても全力を注いでいる
世代交流の実践例	高齢者と子どもの交流(昔の遊びを子どもに教えるなど)や見守りに取り組んでいきたい
地域連携の実践例 (町内会活動)	町内会の加入率の向上のため、イベントなど、地域に愛着を感じてもらおう取り組みをしている
公民館開放の実践例	公民館を開放し、教員OBによる学習指導をしている。子どもにも人気が高く、教える方も生きがいを感じている

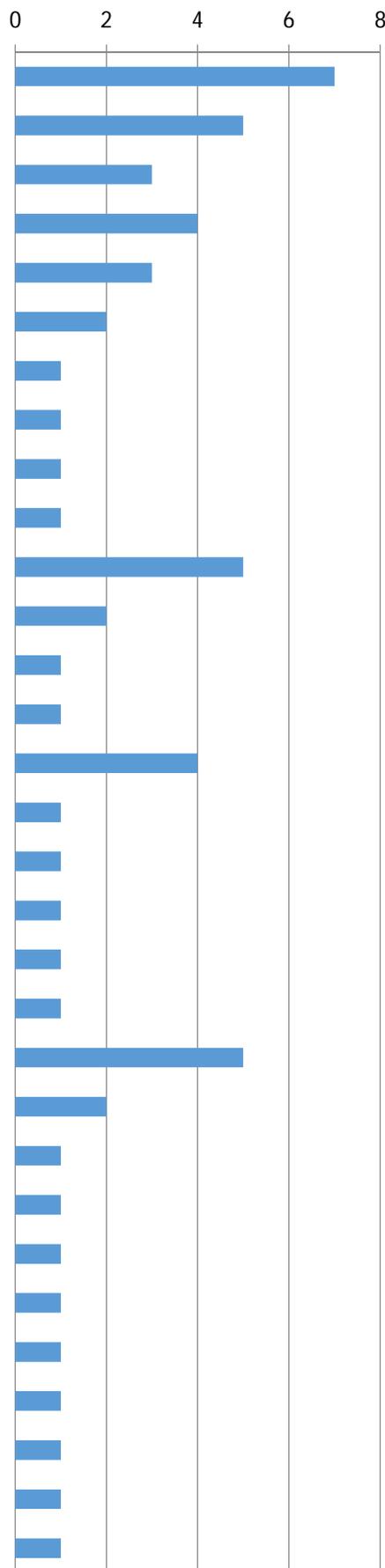
(2) 課題(市民の皆さんが感じている課題)の概要

施策・政策	内容	内容 件数
雇用・定住・ 人口増	雇用の創出	6
	まちの魅力づくり	5
	家を建てにくい	1
	結婚対策(婚活イベント)	1
人材育成	地域の担い手不足	4
	見守り隊高齢化	1
	P T A担い手不足	1
	消防団高齢化	1
	老人クラブ	1
教育の充実	学力低下対策	1
	教育内容の見直し	1
	携帯・スマホ対策	1
	少年非行	1
	保育園統合	1
	少子化(児童クラブ)	1
道路改修	防災対策(避難経路の確保)	2
	道路(通学路)	1
	道路の危険箇所	1
農業施策	農業施設の維持管理	2
	耕作放棄地	1
	鳥獣害対策	1
地域づくり	コンパクト化	1
	まちの空洞化	1
	地域の維持	1
スポーツ振興	スポーツ人口減少	2
交通施策	交通の利便性(バスの利便性)	1
	アクセス(岡山までの時間短縮)	1
既存施設活用	市住老朽化対策	1
	空き家対策	1
新エネルギー	環境破壊	1
情報発信	P R 不足	1
財政問題	アルネ問題	1
課題総数		47



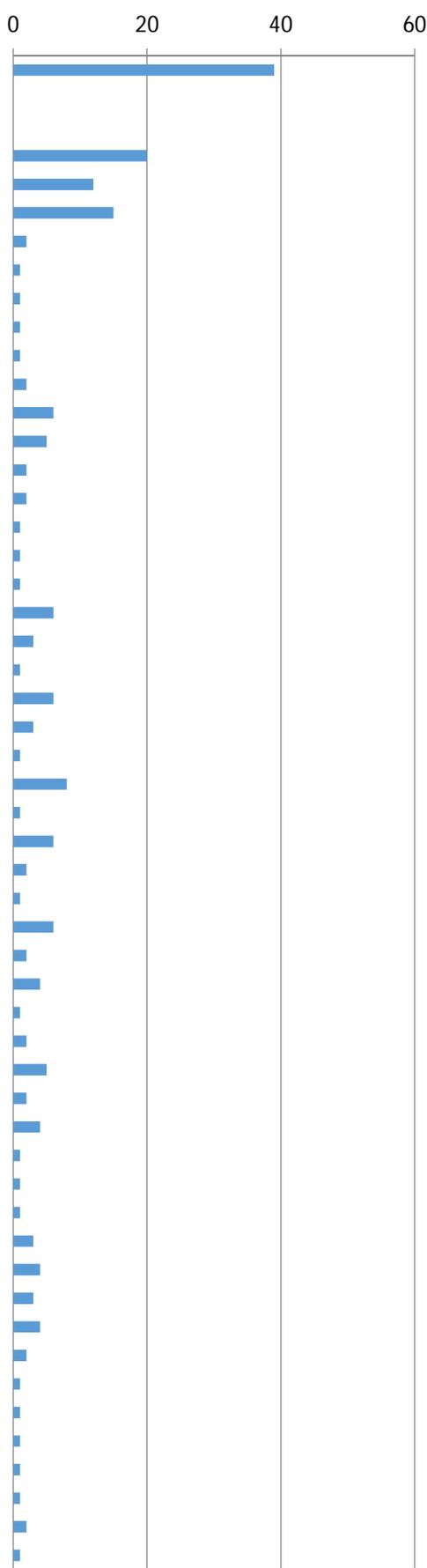
(3) 意見(まちづくり等への個人の考え・意見)の概要

施策・政策	趣旨	意見抜粋	内容件数
総合計画	身近な思い	何か手を打たなければ推計どおりになる	7
	総合計画への期待	人口減少を食い止めるために非常に重要	5
	高齢化・少子化への不安	支える世代減、支えられる世代増が問題	3
雇用定住人口増	働く場・企業誘致	若い人の働く場が必要だ	4
	農業の今後	収入があれば若い人も農業をする	3
	結婚	結婚しない原因を探る必要がある	2
	定住	若い世代に定着してほしい	1
	少子化	何より子どもの数が減ることが問題	1
	出産不安	女性の不安を解消しないと産んでくれない	1
	定住促進転入増	若い世代の転入を増やすべき	1
地域づくりと支え合い	地域の活性化	地域の一人一人が手をつなぐ	5
	消防団	団員確保が必要だ	2
	地域魅力アップ	地域の魅力をつくるべき	1
	地域福祉	福祉で地域を支えていきたい	1
魅力づくり	魅力づくり	津山の魅力づくりが一番	4
	津山の魅力	地元に誇りが持てるように	1
	風力発電	風力発電を進めては	1
	イベント活性化	塩手池フェスティバルは地域の魅力になる	1
	文化財	津山城の石垣は素晴らしい	1
	子育てのまち	子育てしやすいまちを目指す	1
人材育成活用	高齢者の活用	高齢者パワーの活用を	5
	介護保険	介護の担い手が必要だ	2
	地域の担い手	地域の交流で子どもに意識づけをする	1
教育	教育の責任	教育は家庭が責任を持つ	1
	役割分担意識	学校と家庭の役割分担意識が大切	1
娯楽	映画館	映画館が欲しい	1
その他	事業	大型事業であった不正は二度とないように	1
	まち	津山は、保守的だ	1
	施設	市施設の展示物が雑然としている	1
	道路草刈	ボランティアの数を増やすべき	1
	体育協会	体育協会支部の継続についての意見	1
意見総数			62



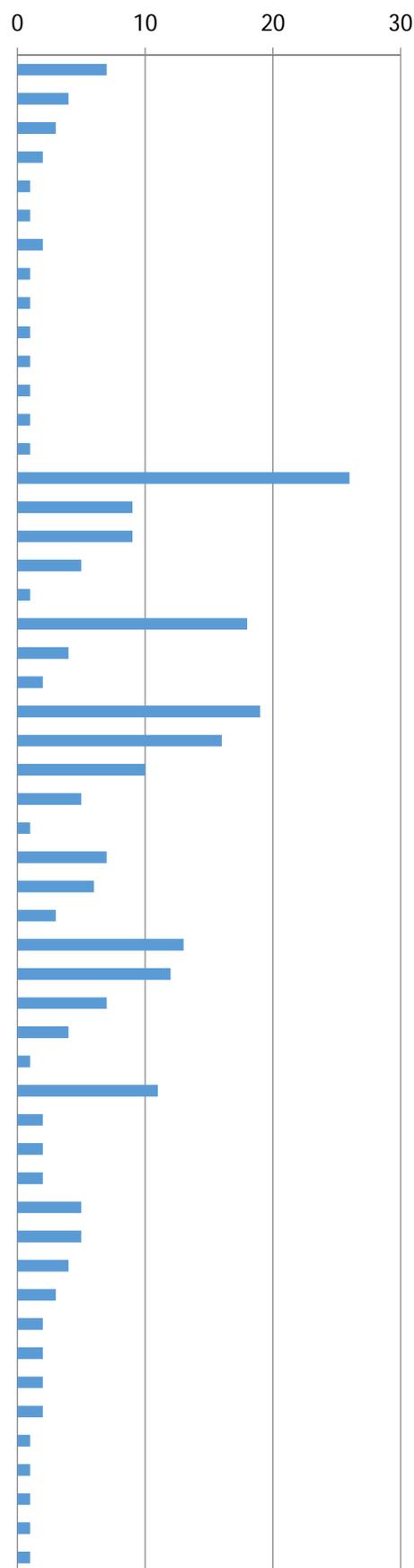
(4) 提言(津山市が目指すべき方向性や取り組むべき施策)の概要

施策・政策	提言抜粋		内容 件数
魅力づくり	城東地区の最終の姿を示し進める		39
	津山市の特徴を打ち出す		
	出雲街道の無電柱化		
雇用・定住	雇用・働く場	もうかる一次産業	20
	定住施策	Uターン希望者へ	12
総合計画	総論	目標を明確に	15
	選択と集中	施策の重点化を	2
	年度計画	年度ごとの見直しを	1
	目標設定	目標を明確に	1
	地区別計画	地区ごとの特徴を反映	1
	調査・分析	原因調査をすべき	1
	独自のまちづくり	思い切った施策を展開	2
	教育	教育の充実	郷土愛を持たせる教育
	資源活用	高専の技術力の活用	5
	伝承教育	伝統・文化継承教育を	2
	地域の教育力	地域を上げて取り組む	2
	幼児教育充実	早い時期から自立を	1
	携帯・スマホ	体験を重視	1
	負担軽減	義務教育は無料に	1
既存施設の活用	空き家対策と古民家の活用		6
	周辺部の施設の活用を		3
	新たな箱物は必要ない		1
地域づくり	地域連携	3世代交流の推進	6
	施設の活用	公民館を子育ての場に	3
	しくみづくり	地域支え合いづくり	1
地域資源の活用	魅力づくり	苅田邸等の保存活用	8
	家庭教育	あいさつ運動の推進	1
子育て施策	子育て支援	日本一を目指す	6
	負担軽減	経済的負担軽減を	2
	モデル地区	子育てモデル地区指定	1
大学誘致	看護大学	看護婦は求人がある	6
	農林業大学	後継者育成につながる	2
高齢者施策	高齢者のまちづくり	高齢福祉で雇用創出	4
	高齢者働く場	高齢者の能力活用	1
	地域包括ケア	単位をもっと身近に	2
交通施策	公共交通の利便性向上		5
	都市とのアクセス改善		2
広域連携	津山市の役割	圏域を支える役割	4
	人事交流	広域での人事交流	1
	事業連携	圏域一体で観光に	1
美術館構想	建設	グリーンヒルズへ	1
	要検討	既存施設の活用を	3
地方創生	国の予算獲得を		4
道路整備	市道の拡幅と補修など		3
情報発信	津山市の魅力をアピール		4
学校等再編	小学校統廃合	バスの循環が必要	2
	幼稚園・保育所再編	保育・教育内容充実を	1
独自のしくみづくり	年金制度	市独自の年金制度	1
	民生・愛育委員	新たなしくみづくり	1
医療 社会保障	救急医療体制	小児医療体制の強化	1
	社会保障費	予防で社会保障費削減	1
観光	駐車場整備	観光客の受皿確保	2
下水道	下水道事業の見直し		1
提言総数			203



(5) 要望 (津山市に対する要望事項) の概要

施策・政策	趣旨	要望抜粋	内容 件数
教育	学校	学区見直し	7
		学校統廃合	4
		学校施設の改修	3
		学校の魅力向上	2
		学校設備充実	1
		学校図書館の充実	1
	教育内容	将来の担い手の育成	2
		教育の均等の確保を	1
		郷土愛を教える	1
		子どもの食育強化	1
		歴史文化の伝承	1
課題	学校の実態把握を	1	
助成	校外活動助成を	1	
総合計画	計画策定への要望	市民目線の策定を	26
雇用・定住	働く場の確保		9
	まちづくり	若者が集まるまちに	9
	婚活イベント		5
	商業振興	輸出のサポート	1
インフラ整備	道路	狭い市道の拡幅を	18
	下水道整備		4
	橋梁改修		2
農林業振興	農業・林業施策の強化		19
安全・安心	防犯対策	防犯灯の増設	16
既存施設の活用	市有施設活用	公民館整備と活用	10
	空き家対策	危険空き家対策	5
	市有地の活用	ごみ処理場の跡地活用	1
地域づくり	地域づくり支援を		7
	コンパクトシティ	歩いて暮らせるまちに	6
	人材活用	市職員の活用	3
福祉	高齢者施策	健康寿命を延ばす取組	13
交通施策	J R、バス利便性向上		12
子育て施策	女性の働きやすい環境		7
	保育	保育園の充実	4
	幼児教育	幼保一元化	1
観光施策	観光振興	観光資源の有効活用	11
福祉施策	障害者施策	発達障害者支援	2
	生活困窮対策		2
	民生委員	配置の見直しを	2
魅力づくり	河川整備	清流を守ろう	5
財政	財政健全化	予算の重点化	5
スポーツ振興	体育館の建設		4
助成	補助金	子ども医療費補助	3
医療・社会保障	医療体制	かかりつけ医師の確保	2
健康づくり	予防	健診会場を増やして	2
情報発信	海士町を例に		2
大学誘致	防災大学等誘致		2
広域連携	広域連携による人口減対策を		1
市民サービス	市民利便性向上	コンビニ交付	1
地域資源の活用	資源活用	岩屋城の整備	1
その他	演習場対策	継続を	1
	事業要望	久米山の活用	1
要望総数			252



分野別懇談会での意見・提言等のまとめ

平成27年3月23日
津山市総合企画部政策調整室

分野別懇談会での意見・提言等のまとめ

1 実施期間 平成27年1月21日(水)～2月6日(金)

2 実施日数 5日間

3 実施した分野 5分野(78団体)

4 参加団体数等

日にち	曜日	時間帯	団体種別	団体数	会場
平成27年1月21日	水	15:00～17:00	子育て・教育・生涯学習	14	大会議室
平成27年1月23日	金	10:00～12:00	経済・雇用	12	大会議室
平成27年2月2日	月	10:00～12:00	まちづくり	18	大会議室
平成27年2月3日	火	15:00～17:00	農業・林業	14	202会議室
平成27年2月6日	金	15:00～17:00	健康・福祉	20	大会議室
			合計	78	

5 各分野ごとの意見のとりまとめ

別紙のとおり(各団体より、日々、感じている課題等について、発言がありました。)

6 総合計画策定に向けての主な意見

雇用の場の確保(地元企業の育成支援、企業誘致等)

津山の魅力づくり(観光振興、特色づくり等)

若者の定住推進(子育て、福祉施策等の充実)

農業・林業施策の強化(地産地消、特産品開発、治山政策等)

人材育成(子どもの教育、地域の担い手育成等)

住みやすいまちづくり(高齢者・障害者施策、公共交通の充実等)

子育て・教育・生涯学習

団体名	内容
岡山県教職員組合津山支部	第4次総合計画の教育理念を今後も継続を競争を否定するわけではないが、豊かな学び、豊かな人間関係なども重要 情報化を中心に、子どもを取り巻く環境は大きく変化しており、五感での体験や人間同士のふれ合いが減っている 視野が狭まり、好きなことだけする子どもが増えている 集中力や工夫、我慢ができない子どもが増えており、便利だけでは成長にはつながらない ICTは十分な工夫をもった活用が必要 きめ細やかな対応のために、現場職員の人数の増加を
鶴山塾ボランティア「とまり木」	一人ひとりの子ども(それぞれの特性)に寄り添う支援を行っている 学習や職場体験に加え、昼食を出し、その食材を、農園で子ども達と作っているのが、特徴である 会員の高齢化が課題 ボランティアは生涯学習
津山工業高等専門学校	高専も再編統合など、厳しい状況があり、今後の存続に向け、魅力の向上が必要(シナジー効果) 学校にとっては、立地するまちの魅力も、大きな要素であり、相乗効果を図りたい「津山に住みたいから高専へ来る」 面白く、新しい、若い人が「かっこいい」と思うような産業の創出が必要 高専もそういった産業の創出に努め、卒業生を津山に残す 地方創生の今がチャンスであり、今やらなければならない
津山市高等学校体育連盟	起業による働く先の確保を 外に出て行かない、帰ってくるように、高校まで地元の学校に通い、地元を愛する気持ちを育てるべき スポーツ(サッカーやラグビーなどが盛んな地域)の施設と宿泊の整備による、誘客も必要
津山市公民館連絡協議会	住民に身近な生涯学習の拠点、地域づくり・人づくりの拠点として、公民館の整備を(課題=老朽化、駐車場など) 利用者は増加傾向だが、地域力の低下に歯止めをかけるため、若手リーダーの育成や、市との連携強化が必要 世代を越えて同じ課題に取り組むコミュニティづくりが、新しい時代には必要 地域の活性化が津山市の活性化につながる
津山市児童クラブ連絡協議会	子どもを安心して安全に預けられないと、力一杯働くことができない 安心して子育てできるまちは、まちの魅力ともなり、企業や人がまちを選ぶ際の、重要な要素となる 県南の中高に出る子どもが増えており、そうすると、友達がいない(関係が薄くなる)ので、津山には帰ってこない 時間がかかっても、目先にとらわれず、長期を見据え、将来の津山をつくるという気概がなければ成果は出せない
津山市小・中学校長会	基本理念をしっかりと定め、10年間は動かさないこと 教育は、一生のものであり、子ども達が職業に就くまでが重要 基本理念から、重点と具体的な内容が出てくるはず。その際、費用対効果よりも、方法対効果を ふるさとキャリア教育 安心して子育てでき、津山で育ってよかった、津山に住んでよかったというまちに 子どもは市民みんな(学校、家庭、地域)で育てる 市民の心に浸透し、自分たちが取り組む気持ちになる施策を
津山市スポーツ少年団	スポーツは人づくりの基本 人づくりこそ地域づくりの基本 この地域で古来より盛んであり、日本の伝統である、武道の振興を(武道館など) 指導者が高齢化しており、指導者の育成・資質向上が課題
津山市スポーツ推進委員協議会	いつでも誰でもどこでも気軽にスポーツできる環境づくり 個々人の事情も様々であり、各地域やコミュニティでできるスポーツという視点が今後は必要 総合型スポーツクラブの取り組みや指導者の確保により、市民のニーズにこたえるべき
津山市青少年育成指導委員連絡会	若者の低所得化も少子化の原因であり、経済的支援により、安心して子育てできる環境づくりを 児童虐待への地域の積極的な関与や支援、行政内の部署横断の連携を 育成指導委員の活用やそのための環境づくりを 育成指導委員の推薦母体は連合町内会だが、活動の実効性を高めるために、小学校区と合わせるように、区割りの見直し
津山市青年団体連絡協議会	青年が社会・地域と関わろうとしない 子どもを生み育てる母親を支え、子どもを生んでよかったと思える社会に 発達障害者・児の増加や学習のつまづきへの対応 子ども達を世代を超えて支える地域に
津山市体育協会	人づくりが一番大切 施設の充実を(プール、武道館など) 体育を念頭に置いたスポーツを
津山市立図書館ボランティア	市が市民に何をするか、よりも、市が市民とどのように協働するか 協働のためには市民の自立が必要であり、図書館は、自立を支える知の拠点 図書館の蔵書数が少なく(予約待ちも多い)、1人当たり図書購入予算も低い(県内で下から2番目)のは課題
津山市PTA連合会	小学校の児童数の偏りがある 学校を選んで、家を建てる学区を決めている人が増えている 子どもが学校生活が楽しかったと思えるような教育環境を 県外に出た子ども達の、若いうちのUターンが最大の課題 子どもと近くに住みたいというも親の自然な気持ち 学力で学校を選んで県南に家族で出る例も増えており、むしろ県南からでも来るような教育・学校づくりを
津山市文化連盟	美術館は、その場しのぎのようにならないように 老朽化している文化センターを、使いやすく、時代に合ったものにし、大事に使いたい 中止されている文学選奨の復活
津山市保育協議会	出生数の減少と、一方で保育需要の増加を踏まえ、将来を見据えた、保育施設の運営を考えていきたい
津山市保育園父母の会連合協議会	子育て世代への経済的支援により、3子以上持てるように 忙しく長時間労働している人も多く、土日夜間の預かりなど、子育てそのものへの支援を 子どもは人が集まるきっかけとなるので、世代間交流など、保育園と地域の連携を 産業活性化のためには、企業誘致よりも、地元の中小企業支援を 婚活パーティなどで市外から呼び込んで
津山市立幼稚園長会	時代の変化に応じた、公立幼稚園の役割と使命(子どもの支援、教員の質の向上、保護者の支援など)がある 就学前教育が課題
津山っ子を守り育てる市民の会	津山市全体の就学前カリキュラムと教員の質の向上のための研修などを担う総合支援センター設置を 教員の、課題のある子どもや保護者への、対応能力の向上 鶴山塾の移転(広い場所へ)と改革(資格取得など仕事に就けるように) 自然体験できる環境づくり
美作大学	高等教育機関の市における役割や意義を考えてほしい 100周年で建設する棟の新しい図書館は、知の拠点として、市民に開放する

経済・雇用

団体名	内容
岡山県タクシー協会津山支部	<p>タクシーは、地域公共交通機関であり、一人ひとりのニーズにきめ細かく、柔軟に対応できる観光立国を推進する中で、観光・交流を支える基盤でもある</p> <p>地域経済の雇用の安定にも寄与している</p> <p>業者も減少している現状があるが、地域のために維持していきたい</p>
作州津山商工会	<p>人口減少が一番の根本問題だ</p> <p>大学・高専などの進学先が少なく、就職先が少ないため、若い人が市外に流出している</p> <p>出生率向上のため、第3子以上の優遇措置なども検討しては</p> <p>子育て支援についても、よその都市にないような施策、子育てしやすいまちに特化した施策を</p> <p>住宅の建設に対し、転入者への優遇措置などを検討しては(美咲町などの取り組みを参考に)</p>
津山圏域工業会 つやま新産業創出機構	<p>以前の工業団地への企業誘致は、安価な労働力と交通の利便性によるものだった</p> <p>立地企業の中で、時代に対応したものをつくる技術のある企業が活力がある</p> <p>津山高専の専門性は、他県から来た企業の方が活用しており、地元企業は活用していない</p> <p>林業や鉄工業から、電機・電子に移っていったが、大手の下請けが多く、地元産業が興らず、厳しい状況となっている</p> <p>技術創成型・研究型の企業から、枝葉が広がり、津山独自の産業基盤につながる</p> <p>場当たりの対応では解決できず、問題はどこにあるのか、真剣に考えないと、津山市はなくなってしまう</p> <p>地場企業と外から来た誘致企業との相互連携がないのが問題</p> <p>出来上がったものばかりに関心を持つのではなく、過程や原因が大切</p> <p>雇用と言う前に、雇用創出できる企業はどういうところかを考えるべき</p> <p>一時的なものではなく、持続可能なものをつくる土壌が重要であり、そのために外からの移植を</p> <p>これまでなかった長期的なビジョン(30年先、50年先を具体的に示す)をつくってほしい</p>
津山産業・流通センター運営協議会 津山市観光協会 津山旅館組合	<p>県外からの誘致により、新たな雇用の創出、ひいては地域経済の活性化に努めていきたい</p> <p>人口減少は、日本全国共通の問題であり、悲観せず、しかし、じっとしてはいけいない</p> <p>定住人口の増加のためには、雇用増に結びつくような産業振興が必要</p> <p>出生率を上げて、就職で市外に流出するのでは意味がない</p> <p>交流人口の増加のためには、学校の充実と、官民挙げての観光の産業化を</p> <p>医療も人を呼ぶ材料になる</p> <p>総花の時代ではなく、方向性を英断をもって定め、決めたら一丸となって取り組もう</p> <p>労働界の人たちは初対面だが、大人数の若い人のまとまりであり、ぜひ津山を支えてほしい。今後、ぜひ交流したい</p>
津山市中心市街地活性化協議会	<p>観光による交流人口の増加と、産業振興しか、人口減少対策はない</p> <p>何もしないと人口は減少するので、スピードアップする必要がある</p> <p>全国の自治体の競争なので、今の時代、ネット上で「津山はコレだ」というものがないと、どうしようもない</p> <p>観光は、都市とのコミュニケーションをとっていくこと</p> <p>「面白いまち」に人が来るし、そういうまちには若者も残る。まちづくりと観光は一緒に行うべき</p> <p>津山市は近隣の都市と比べて、取り組みが遅れており、心配だ</p> <p>外のすぐれたヨソモノの力を借り、受け入れていこうにしなければ、間に合わない</p> <p>企業誘致も下請的なものでは厳しいので、津山独自の新産業の創出が重要</p> <p>陽子線センターもキーになる。まず市民が知って、広報できるようにしていく</p> <p>いい案が出て実際に実行されなければ意味がない(予算の充実を)</p> <p>津山市は山陰のように、もっと危機感を持ってがんばらなければならない</p>
津山市人づくり事業運営委員会	<p>人口減少対策のためには、産業の活性化と雇用の創出が必須</p> <p>身内以外も含め、後継者の育成が急務</p> <p>核となる産業の創出も急がれる</p> <p>優秀な人が能力を生かせる場所が必要</p> <p>人材育成しても出て行ってしまおうのが現状であり、津山に住んで働くことがステータス、高価値になるように</p> <p>津山を都会にする必要はないし、都会と競争しても意味はない。津山らしい価値の定着を</p> <p>津山の価値を上げることが大事</p> <p>1の大企業やナショナルチェーンよりも、100の起業家を(将来の商店街づくり)</p> <p>海外観光客と同時に、1ターンの増加のために、中心市街地をフリーwi-fi地区に</p> <p>小さくても良質な企業を育てることで、成功すれば大きく成長するかもしれない、という夢を</p> <p>津山発の面白い企業が出てくるように、今から種をまく</p> <p>今日の話聞き、女性や高齢者の経営能力開発講座に取り組もうと思った</p> <p>女性や高齢者など、新たな対象者から連携が生まれ、新しい産業が生まれる可能性もある</p>
津山商工会議所女性会	<p>企業誘致にしても、自動化が進み、雇用数が少ないのでは意味がない。雇用数などの条件を付けて誘致してはどうか</p> <p>雇用の場がなければ人は住めない</p> <p>「帰りたい、でも働く場がないので帰れない」と言っている若い人が多い</p> <p>「楽しい津山、来たい津山」になって、観光振興が進めば、雇用も生まれ、住みよいまちになるのでは</p> <p>「女性の活躍を」という時に、施設整備の話や、女性に対して、「もっと生んでくれ、そしてもっと働いてくれ」という話になりがちだが、そもそも、家事や育児は、夫婦が共同で行うこと、という意識改革を</p> <p>一時預かりを、もっと安価に、もっといつでも、安心して預けられるように充実を</p>
津山商工会議所青年部	<p>イルミネーションによる商店街集客の取り組みをしている。拡大していきたい</p> <p>婚活も市外から参加してもらおう取り組み、3割は市外者としてすることができ、カップルも生まれた</p> <p>津山に実は様々な仕事があるのに、若い人がそれを知らない実状を踏まえ、職業体験を実施した</p> <p>1ターン対策に力を入れるべき</p>
津山地区雇用開発協会	<p>65歳以上の働く人・働きたい人への支援の必要性を感じている</p> <p>女性の労働力の確保に向けての支援が必要</p> <p>働く場所に近いところでの育児サポートなど、女性が働きやすい土壌づくりを</p> <p>企業誘致しても、ロボットや外国人ばかりでは、賃金は低下し、経済は活性化しない。高付加価値企業の誘致を</p> <p>観光振興のまちづくり(津山城など)</p> <p>地場産業の棚卸しをし、その支援育成を</p> <p>営業にはコストがかかり、1社では困難もあるため、地場産業育成のため、各企業をまとめて商談会を開催し、全国に発信してはどうか</p>
津山地区労働者福祉協議会	<p>昨年も相談件数が多く、労働条件の厳しさや、雇用の不安があるのではないかと感じている</p> <p>大手企業の誘致は困難であり、地場産業の育成強化を。そのためにも働く人の福祉の向上は重要な要素</p> <p>津山で働いてよかったと実感していただけるような環境整備を。自分たちも取り組んでいく</p>
連合岡山美作地区協議会	<p>地元企業が伸びる津山市づくりを(それが働く人の処遇の改善にもつながる)</p> <p>新たな雇用の場の創出を</p> <p>安心して働ける津山市づくりを</p> <p>地元に住み、地元で働く環境整備を</p> <p>人口減少を遅らせるための、誰もが共有できる、明確な目標を定めてほしい</p>

まちづくり

団体名	内容
あば村運営協議会	住民の出資による合同会社で取り組み、給料無しで活動しているが、施設整備(GSの地下タンク、廃校の加工施設化)など基本的な部分は支援を 素人ばかりで活動しているので、担当の市職員の配置を
NPO法人エコネットワーク津山	自然景観やまちなみ景観の維持 高齢者や子どものための公共交通の整備 先進的なごみ分別やごみ処理は、新クリーンセンターになっても継承発展を
NPO法人エコビレッジあば	市営阿波バスを加茂が津山まで延長してほしい 現在は受託している除雪も高齢化で将来的には困難になるのではないかと
岡山県建築士会津山支部	「ヘリテージマネージャー」という専門家を育成し、「見守り隊」の発足に向け、呼びかけているので、城東地区(重伝建地区)などででの修理・修景などで活用を
岡山県宅地建物取引業協会津山支部	目標人口を定めて取り組むべき(縦割りを排した庁内組織と市民参加による推進) 女性が活躍できる環境整備を 雇用なくして定住なし 県北の拠点都市として、広域的な視点をもって、県域内の連携や役割分担の推進が必要 IT・情報産業にも力点を置いた産業支援 学力向上も重要な要素 陽子線治療センターの活用 空き家バンクなどの対策 市営住宅に新しい手法(PFIなど)の導入を検討しては 大型店の出店規制 用途地域の開発許可基準の規制緩和 全県の上水道を企業団に集約しては
さん・さん祭り実行委員会	女性の視点でのまちづくりを(各種会議での女性比率の向上)
城西まちづくり協議会	メンバーの高齢化が課題であり、人材の育成や人員の確保が必要
城西まるごと博物館フェア実行委員会	スタッフの高齢化に伴う後継者の育成が課題 資金集めも課題(補助金の減、企業協賛金も不景気で減)
城東まちづくり協議会	高齢者と子どもの交流活動にも取り組んでいく
城東むかし町実行委員会	城東は人口減少や少子高齢化の課題先進地区 高齢化が進む中で、巻き込まれる形で始まったイベントが、生きがいや仲間作りになっている いつまでも支える側でありたい、という気持ちで
高倉自治協議会	住民一人ひとりの課題が多様化する中で、きめ細かい対応が必要 公民館の利用の幅を広げ、「小さな拠点」として地域活動の中心としては 地域活動の、「ひと、もの、お金」の持続するしくみづくり 郊外地域も、資源を活用した、田舎暮らしや田舎体験の観光などの取り組みを 農地・里山の、生活の糧になるような位置づけ、活用を
NPO法人たかくら村	(プレイパークなど)先進的な子育てができるまちになれば、定住促進につながるのでは プレイパークの展開や人材の養成・確保を 市外在住の津山市出身者を組織化し、Uターンを促進
津山市環境衛生推進委員会	生ごみを堆肥化して学校や公園で活用しては 人口が減ってもごみは増えるので、市外へ出さず、市内で有効利用を 農地法の緩和による農地付住宅の実現を(買いたい人が多い)
津山市消防団	団員の確保が課題 人口減少に抵抗するために津山市民みんなで頑張ろう
津山市人権尊重の教育推進協議会	人権感覚や人権意識を大事にし、日頃から啓発などに取り組む必要がある
津山市中心市街地活性化協議会	空き店舗情報を発信して人を呼び込みたい
NPO法人つやま城西ほりおこし隊	作州民芸館や空き家を活用した手仕事の人たちの場所づくりを(伝統文化の継承でもある) 活動が継続できるしくみづくり
津山青年会議所	歴史文化遺産を活用し、圏域全体での観光を 見てもらうだけではなく、交流を図ることで、地域の人にも誇りや愛着が生まれる 人物に着目し、ドラマやストーリーの視点での観光の取り組みを考えたい

農業・林業

団体名	内容
農事組合法人アグリ堀坂	今後は農業経営体(集落営農や農業生産法人)の増加が有効ではないか 組織化のきっかけづくりをお願いしたい 法人の情報交換や連携を図っていきたい 営業部門新設による販売強化が課題(そこに向けた組織強化)
岡山酪農協同組合	収益性を向上して離農を防ぐ努力をしなければならない 自給飼料の増加や土地基盤の拡大、耕畜連携などに取り組みたい このまま離農が進むと、国産の生乳や乳製品が供給できなくなると危惧している 津山市に本所を設置しており、市行政とも連携して取り組んでいきたい
サンヒルズ生産組合	もっと売れる直売所にして、農家の収入源にしたい 食堂の建設や会議室(視察の受け入れ場所)の設置、肉(和牛)の販売、店内の通路の拡張などが必要
勝英農業協同組合	管内の農業従事者の63%が70歳以上であり、10年以内に引退が予想され、後継者確保が課題 JA自身が出資型農業法人として、農業経営を行うことも、最後の砦としては必要 50年後を見据え、(作州黒など)特産化の推進に取り組む
津山市森林組合	森林の公益的機能の維持のために「切って使って植えて育てる」循環型林業を 価格の低迷もあり、林業従事者の生産意欲の減退や森林所有者の関心の低下が問題 人材の育成確保が課題 公益的機能の維持のための保育管理や計画的な集約、専門的職員の配置を
津山市土地改良区連合協議会	農林業を前面に打ち出してほしい 行政の範囲は複雑多岐にわたるが、ここまで来たら、あれもこれもというわけにはいかない 勝北の西の台地に水が来るようにしてほしい 役所仕事ではなく取り組んでほしい
津山市農業後継者協議会	市内に地元農産物の販路を開き、地産地消を日常生活の中で(スーパーなど)実現を 市外、県外に出荷しているのが現実(市内には買い手があらず、市場に出しても値が付かない) 補助金の使い方や使った場合の効果などをもっと分かりやすく伝えてほしい
津山市農業士協議会	米価も下落しており、米の消費拡大を (大型化も必要だが)地域を支える小規模農家も大切な存在 高齢化が進む中、軽量で収益性の高い品目の紹介を ピオーネ栽培振興の助成強化(初年度投資が高く、収入が得られるまで6年かかる) 国の農政が頻繁に変わり、振り回されるので、長期的に変わらない政策にしてほしい
津山市森づくり委員会	水源域として、森林の多面的機能の長期的な維持が重要 林業や木材加工業など関連産業の振興 地域の暮らしと一体となった森づくり 人材育成 森づくりは50年かかるという視点で
津山総合木材市場	林道の充実 山元にお金を返したいという思いで木材を扱っている 今後の展望が持てる木材の用途や販売先(海外も含め)を見出す必要がある
津山地域地すべり防止対策協議会	地すべり地域で土石流が流れるような地域で急傾斜で地震が発生したらどうなるのか。流域単位で予想される状況や対策を、防災ハザードマップに示すべき、また、補強工事などを行い安全を確保してほしい。
津山農業協同組合	農業においても女性の活躍が必要 若い人が学校を出てすぐに就農できるしくみづくり 地産地消の実現のためには、年間を通じて他品種を提供できる供給体制の確立が必要 津山に住めばいつでも何でも地元のものが食べられるというのは魅力になる 主食用以外への米の多用途への展開(飼料米など) 補助金や政策のわかりにくさや煩雑さを解消し、誰でも取り組める農業に(国が作るが、身近な自治体として、JAも協力・努力する)

健康・福祉

団体名	内容
津山市医師会	現在取り組んでいる、在宅医療・介護の多職種連携事業と、市の地域包括ケアシステムを連携させたしくみの構築 子育て施策は、顔の見える関係がよい形で築かれているので、引き続ききめ細かなサービスの継続を 若者世代を集めるためには、教育や交通が重要
津山市介護保険事業者連絡協議会	介護を支える人材の確保が必要。イメージアップのためのソフト施策を 住み慣れた地域で暮らせる体制を整備するためには、分野を超えたネットワークづくりが必要
津山市歯科医師会	高齢者の介護予防には口腔内の状態の維持が有効だが、軽視されている 子どもの虫歯改善のために、学校検診後に受診につなぐ教育・指導が必要
津山市社会福祉協議会	高齢者、生活困窮者、子育てなどを、地域で支えるために、地域の中に出て行き、地域と関係者と行政をつなぐ役割を果たしたい
津山市シルバー人材センター	歴史と文化を生かした観光で津山を元気にするために協力したい(天守閣の復元など) 高齢者が知識や経験を生かし、生きがいを持てるような、地域貢献(子育て、認知症サポートなど)や仕事づくりの場を (年寄り村、シニアプラザ)
津山市身体障害者福祉協会	支える側(若い世代)の意見を聞き、取り入れてほしい 障害者も陳情・要望から自立へ。自ら考え行動し、生産することが生きがいになる(市からも提案を) 障害者優先調達法の実績が低い。(働かせてほしい)
津山市手をつなぐ育成会	障害者の就労支援として、知的障害者の市役所での正職員としての雇用を 障害者が地域に住んで自立できる体制づくり 子育てのしやすい環境づくりは、まちの活性化につながる
津山児童福祉施設職員研究協議会	子どもを中心に置いて、子どものために、という視点での施策を 行政と施設が参加する入所調整会議や、18歳になる前からの、県と市と施設が一緒になった移行調整のしくみを 多様な課題を抱えた個々の子どもたちに応じた、家庭的養護の推進に向け、地域の理解と連携を求める啓発を
津山市母子寡婦福祉会	生活保護や生活福祉資金貸付が厳しくなりすぎないように 父子家庭にも母子家庭と同様の支援を
津山市民生児童委員連合協議会	民生委員の配置の見直し(担当世帯数の偏りの是正) 民生委員はボランティアで責任も重くなっている負担が大きくなっている(なり手の減少) 団塊世代や民生委員OBの活用も 全世代で地域の福祉を支えていく意識付けのきっかけづくりを(子ども民生委員、一日民生委員など)
津山しらうめの会家族会	その人の可能性をどこまでも信じて支援する。積極的人権思想で 精神障害、知的障害の現状を踏まえ、人権尊重の観点からも、精神障害者に相談制度を創設すべきである
津山市老人クラブ連合会	今の60代、70代は、以前に比べて元気であり、高齢者の定義を見直しは ハコモノよりも心で支えるしくみを
津山地区保護司会	犯罪の低年齢化が進んでおり、幼児期からの教育が重要
津山ボランティア交流会	働く男性も含め、日常の一部として、当たり前ボランティアに取り組める環境整備を 若い人が参加できるような活動を増やし、PRすることで、若い人と地域の人との心のつながりが生まれるのでは いざという時の備えとして、年1回の災害訓練を 人口減少は、支える人と財源の減少を意味するので、無償ボランティアと有償サポーターと仕事を組み合わせ、持続可能なくみづくりを

地区別及び分野別懇談会参加者に対するアンケート調査結果概要

平成27年3月23日

津山市総合企画部政策調整室

第 5 次総合計画に対するアンケート及びご意見・ご提案

津山市総合企画部政策調整室

10年後の津山市を創るため、第5次総合計画に対するアンケート及びご意見・ご提案にご協力ください。

- 1 性別を教えてください。 男 ・ 女 （該当に○をしてください）
- 2 年齢を教えてください。 （ ）才
- 3 あなたが津山市に住んでおられる経緯について、一番近いものを1つ選んで下さい。
生まれてから、ずっと津山市に住んでおり、一度も離れたことはない
幼いころに津山市に転入し、それ以来ずっと住んでいる
津山市で生まれた、または育ったが、進学や就職などで一度転出しその後戻ってきた
津山市に住んだことはなかったが、生まれ故郷に比較的近いので、転入してきた
津山市に住んだことはなかったが、ここでの仕事、生活に魅力を感じ、転入してきた
仕事の都合により、引っ越してきた
結婚により、引っ越してきた
進学により、引っ越してきた
- 4 今後も津山市に住み続けたいと思いますか？該当するものに1つだけ○をしてください。
ずっと住み続けたい 当分の間は住み続けたい
転出することがあっても帰ってきたい 転出したい 転出を考えざるをえない
- 5 お子さんやお孫さんにも津山市に住み続けてほしいと思いますか？
そう思う まあそう思う あまりそう思わない そう思わない
- 6 津山市が好きですか？
好き まあ好き あまり好きではない 好きではない

理由を記載してください。

(
)

7 次の政策の中で、今後、人口が減少していく津山市において、優先すべきだと思う順番をつけて下さい。

雇用や賃金の確保など「現役世代」のための政策 (番目)

教育など「子ども世代」のための政策 (番目)

介護など「高齢者世代」のための政策 (番目)

裏面もお願いします

8 人口減少を克服し、活力ある津山市にするために、思い切った政策を、重点的に行うことについて、どう思いますか？該当するものに1つだけ○をしてください。

そう思う まあそう思う あまりそう思わない そう思
わない

9 10年後の津山市はどうあるべきですか？自由に記載してください。

10 第5次総合計画の策定に向けて、ご意見・ご提案を記載してください。

ご協力ありがとうございました。

今後も電話・FAX・メール等にてご意見を募集しますので、ご遠慮なくお問い合わせください。

送付・問い合わせ先

〒708-8501 津山市山北520 津山市総合企画部 政策調整室

0868-32-2027 FAX 0868-32-2152

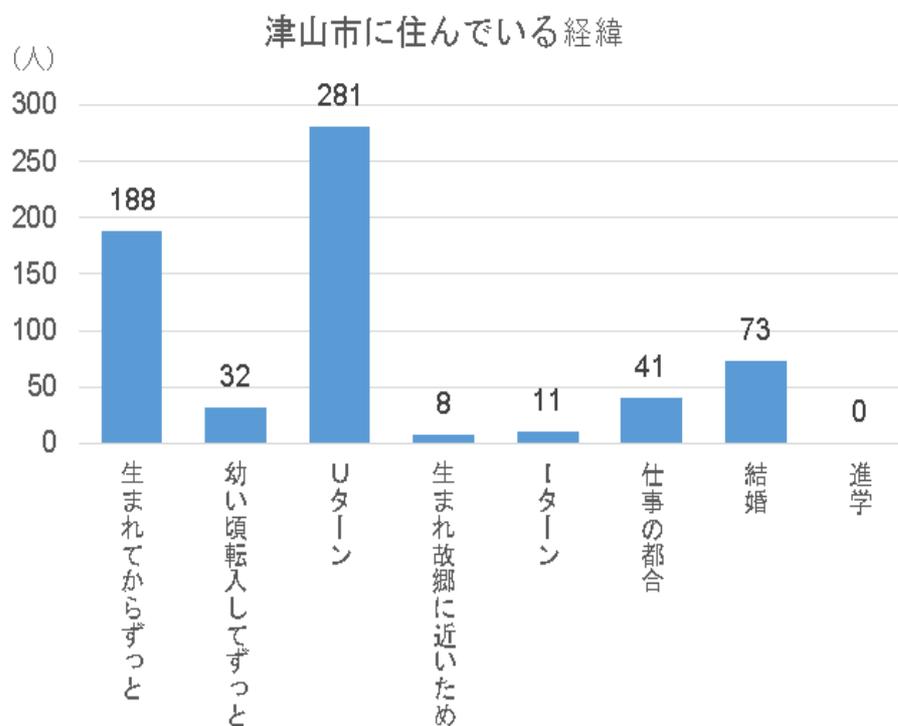
Email アドレス seisaku@city.tsuyama.okayama.jp

【調査概要】

- ・ 回答総数 651（設問により有効回答数は異なる）
- ・ 調査日：平成 27 年 1 月 17 日～2 月 22 日（懇談会会場にて）
- ・ 調査対象：地区別および分野別懇談会参加者
（男性 79.1% 女性 20.9% / 平均年齢 63.7 歳）
- ・ 調査手法：会場調査・記入式

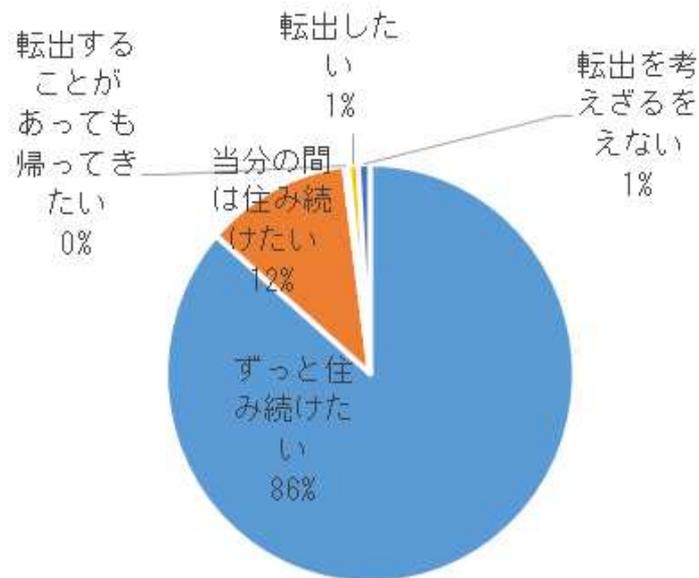
あなたが、津山市に住んでおられる経緯について、おたずねします。

- 1 位 津山市で生まれ育ち、進学や就職で転出した後、Uターンしてこられた方
（44.3%）
- 2 位 生まれてからずっと津山市に住んでいる方（29.7%）
- 3 位 結婚（11.5%）
- 4 位 仕事の都合（6.5%）



今後も津山市に住み続けたいですか？

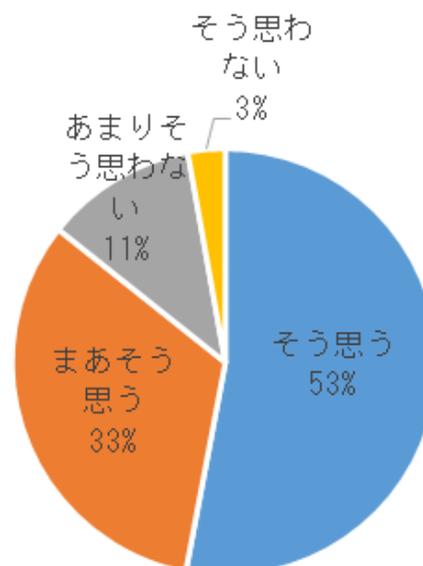
- ・定住意向（98.2%）が非常に強い。



今後も津山市に住み続けたいか

お子さんやお孫さんにも津山市に住み続けてほしいですか？

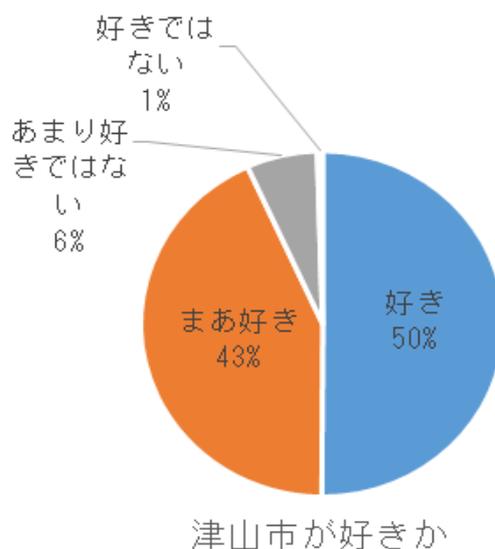
- ・子や孫にも住み続けてほしい意向（85.7%）



子や孫にも住み続けてほしいか

津山市が、好きですか？

・好き、まあ好きが、93.1%で、津山市への愛着は強い。



「好きな理由」としては、「生まれ育ったから」といった回答が多いが、その他、災害が少ない、自然が豊か、住みやすい、静かな環境、人情が厚い、歴史・文化がある、といったものが挙げられている。

今後、人口が減少していく津山市において、世代別の政策優先の順位について

- 1位 現役世代 56.5%
- 2位 子ども世代 29.9%
- 3位 高齢者世代 13.6%

人口減少を克服し、活力ある津山市にするために、思い切った政策を、重点的に行うことについては、97.0%が賛成している。

